

会議録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成21年度第1回臨時会
開催日時	平成21年9月24日（木曜日）午後1時から3時まで
開催場所	田無公民館会議室
出席者	委員：浅野委員、一方井委員、吉田豊委員、服部委員、鈴木委員、小西委員、大澤委員、吉田勉委員、山田委員 事務局：小池館長、奈良副館長、山川庶務係長
傍聴者	0名
議題	1 事業評価の方法について2 2 その他
会議資料の名称	1 事業評価指数作成表
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>会長：</p> <p>時間になりましたので、図書館協議会第1回臨時会を開催します。本日の議題は、事業評価の方法2ということで、事前に送付された資料「事業評価指数作成表」について論議したいと思います。</p> <p>最初に事務局から説明をお願いします。</p> <p>副館長：</p> <p>前回の協議会で、アウトカムの部分がないという指摘を受けましたので、事務局でそれを作成したものを事前送付しました。事業の効果ということで、これができるという視点でアウトカムは作成しました。みなさんに目を通していただいたという前提で、本日はこの資料について、これで事業評価を行ってよいかということについて、協議していただきたいと思います。</p> <p>もう一点、「事業評価指数作成表」は、年次事業概要にある事業計画に基づいて作成したのですが、最初に目標数値がないということに気がつきました。事業概要にある基本指標の項目を、事業目標に設定したものを用意し、それに対して、個々の事業計画に基づいて、提供したサービスの実績数とその効果というようにしたらどうかと思い、提案いたします。</p> <p>目標数値を設定するというのは、基本計画に書いてないので、今年度は試行として、平成22年度から事業指針に目標数値を設定して評価するというのを付け加えて</p>	

いきたいと考えています。

館長：

補足しますと、「事業評価指数作成表」の柱立ては、図書館の年次計画を骨子に作られています。その中に図書館全体としての目標数値がないということです。

毎年発行している事業概要に記載されている基本指標を、平成22年度から運営方針の中に、図書館がその年度に目指す目標数値を明確に記述し、手続きとして計画を作った段階で、図書館協議会に報告し、了解をいただき、その後、教育委員会の事業計画の報告で承認をいただき、図書館が目指す目標数値を明確にしたいと考えています。

その部分を年度末の事業評価の最初に掲げ、実績として事業評価が良かったのか悪かったのかを事業評価に加えたいということです。

会長：

確認しますと、事業評価の目標数値を「事業評価指数作成表」の一番最初に載せるということで、内容は、毎年発行されている事業計画の運営方針をそれにすることよろしいですか。

それでは見ていただいた所で、何か気がついた点がありましたら、質問とか意見をご発言ください。

委員：

現在の状況から問題点を洗い出し、その中で最も重要なものを評価対象にしたら良いと思います。

一番の問題点は、中央図書館の建物の狭さがあげられると思う。学校の空き教室を利用して書庫を確保するとか、公文書館を設立してすべての行政資料を収容するとか考えられると思います。

会長：

施設の問題は平成18年度に協議したが、新しい施設を建設するのではなく、既存の施設をどうリニューアルするかについて論議しました。

施設も大事ですが、今回は、日常の図書館業務の中で、評価をどうしていくかということで、昨年図書館法が改正され、公共図書館も評価基準を設けて、図書館自体も評価するというようになってきたので、この作業を行うことになりました。

委員：

児童サービスの推進について、注意して読みましたが、項目の種類とアウトプットの押さえ方が対応していて、数値が把握しやすい内容になっていたので良いと思いました。見通しを持って効果を考えているならこれで十分良いと思いました。ただ、数字のとらえ方いかんだと思います。

委員：

アウトカムを作成していただき、体裁として完成形に近づいたと思います。見通しのある、結果の予測できるものになっていると思います。事業評価を行った結果、重

視される点は、骨太に作った方が良いのではないかと思います。

館長：

事業評価をした上で、今後どのような課題があるのか、それに対して二次評価の中で、その課題に向けてどのようなことが必要か総括文のような形で表現することになると思います。

会長：

長期的戦略と当面の運営計画を出していくことが、事業評価を作成していく上で一番重要な点だと思います。

委員：

大きな運営方針に関わる部分は、評価を通すことによって見えてくると思います。そこで事業評価は切り分ければよいと思います。

目標数値は具体的に定まりますが、評価していく上で、全国的な評価基準と比較して、参考数値を設けた方が良いのではないかと思います。

委員：

サービス指針とはいえないかも知れないが、レファレンスサービスの利用法とか、図書館の使い方に関する市民向けの項目も必要ではないかと思います。

会長：

事業評価の方向については了承し、これを基に総括する文章を作成するという事で確認します。

続いて、その他の事項についてお願いします。

館長：

9月議会について報告します。会期は9月28日までで、補正予算についての審議が主な議案です。続いて決算特別委員会が9月29日から5日間開催されます。今回の9月議会では、図書館に係る案件も数件出ていますが、会期中ですので、詳細については、次回協議会で報告させていただきます。

委員：

社会教育委員の会議にも出席しているが、その中で、図書館に対する要望が何件かありました。生涯教育施設の中で、図書館一番利用しやすいので、生涯教育の場所として中心になってほしい、武蔵野市と比較して蔵書冊数が少ない、図書資料に関して相談できる場があるのかとか、ゆっくり座って読書できるスペースが少ない、などです。

副館長：

11月頃に施設見学を実施したいと考えています。三鷹市又は調布市図書館等が候補にあげられますが、次回協議会で決めたいと思いますので、場所・日程等について事前に検討をお願いします。

会長：

本日の協議会はこれで終了いたします。次回は、10月29日（木曜日）午後1時から第2回臨時会開催の予定です。